

スライド 9、10 IT 省エネ海外連携専門委員会

(4) アジア関連事業

1) アジア各国の省エネ政策・市場動向調査

■概要： アジアの数か国を対象に、省エネ関連政策や市場動向の調査（コンサル委託）を行います。特にビルや建物、工場、都市レベルの省エネ・低炭素化に焦点を当てて動向把握に努めます。（対象国・分野は現在選定中）

2) 拡張省エネ診断事業

■概要： 2009～2012年度にかけてグリーンIT推進協議会で実施してきた、アジアにおける工場や施設の省エネ診断事業を、拡大して実施します。具体的には以下のような事業となります。

- ①現地状況調査： マーケティング段階として、最もビジネスに近い現地企業（複数可）を調査。
...②の診断事業を実施しない企業も参加可能
- ②省エネ診断： 従来の省エネ診断事業。アジア各国の工場、施設等を対象に省エネ診断を行い、改善策の提案等を行う。
- ③効果検証調査： 過去の省エネ診断先等に対し、ビジネス促進のためのフォロー調査。
...②の診断事業を実施しない企業も参加可能
- ④アジア各国での普及啓蒙活動：
各国グリーンITイベントでの講演等（希望社のみ）
- ⑤受入研修： 希望社のみ

■委員会の構成と開催頻度（予定）

- IT省エネ海外連携専門委員会は、上記1)か2)のいずれかの事業に参加する企業によって構成される。
 - － 専門委員会メンバーは、事務局から隔月または四半期くらいのペースで、アジア数か国の省エネ政策等のレポートをメールで受け取る。
 - － 他の海外動向やアジア各国のイベント情報等の整理把握のため、会議を年2～3回程度開催する。

- 2) 拡張省エネ診断事業については、診断を実施する企業のみで構成される「タスクフォース」を専門委員会の中に設置して活動する。
タスクフォースは年6回程度（主に上半期に）開催する。

以上